

八女市未来づくり協議会

～まちづくり団体の情報誌 第5号～

発行：八女市総務部 地域支援課 TEL0943-23-1224



先進地視察研修（人吉市にて）

八女市未来づくり協議会では、平成26年12月1日～2日に、各地区のまちづくり協議会役員と市職員の総数47名が参加し、古くからの城下町で歴史の風情が残る熊本県人吉市を視察してきました。

青井阿蘇神社は1,200年以上の歴史を誇り国宝指定を受けています。その神社を拠点に人づくりに重きを置いて活動している立石芳利さんは、地域子どもたちと地域資源を題材にした体験も再発見などの取組みを紹介されました。

ひまわり亭の本田節さんからは、「もったいない」をコンセプトに立ち上げた農家レストランのお話でした。開店当初はスタッフが鍋や茶碗、湯のみ、座布団などを持ち寄り、食材は地元でとれたものをできるだけ無駄なく使ってきたことや、スタッフ17人は女性高齢者をはじめ、子育て支援が必要な若い女性を積極的に採用していることを話されました。また、地域における人づくりに貢献しながら、地域内がうまくつながり、循環していくまちづくりを目指してありました。

鍛冶屋町通りでは、立山茂さんから寂れていく鍛冶屋町通りを「通りの景観を生かした町づくり」として保存会を結成し、鍛冶屋町通りが観光スポットとして訪れる人や、町づくりの見学者も増えた事などを当初から関わってきた苦労話も含めた話を聞くことができました。また、焼酎蔵の織月酒造では、地域住民とのふれあいを大事にしたイベントを会社あげて開催している説明を受けました。

このように今回の視察研修は、地域を活性化するにはまず人づくりが大切であるとの共通した話で、今後、それぞれの八女市のまちづくり協議会においても参考にしていきます。

《会長あいさつ》 未来づくり協議会会長 草場 雄二郎

八女市未来づくり協議会が発足して5年が経過しようとしています。国は今、「経済成長は地方の成長無くして達成しない。今までの指導メニュー的な補助事業は終わり、自分たちの地域は自分たちの責任において振興計画を立てて推進していくことが大事」としています。現在、10のまちづくり協議会が地域振興計画を完成させ、本年度中には5協議会が完成する予定です。来年度には全21協議会が作り上げ、地方分権と活性化に貢献することが重要だと考えます。皆様のご協力とご活躍をお祈りいたします。



○ 串毛地区自治運営協議会「多目的広場の整備」

【事業概要】

鹿子生地区は四方を山に囲まれ、集落の中心部を県道吹春・本分線が南北に縦断し、この県道に数本の市道が連絡しています。地区には住民のふれあいの場所がなく、一番近いグラウンドでも4kmもあり、車を持っていない高齢者には参加することができません。

また、山間部で過疎・高齢化が進む中、住民同士の「家族・地域のきずな」の再構築が必要です。

【事業実績】

- 多目的広場：面積=1,000 m²
- 進入道路：長さ=200m
- 排水パイプ：長さ=40m（直径 400mm）

【事業効果及び今後の展望】

地域の中心部の近くにふれあい広場を建設し、住民のふれあいの場所ができることにより、住民相互の親睦、福祉活動・健康管理に大きな成果があるものと期待しています。

平成24年の九州北部豪雨の時、土砂崩れ等で交通が遮断され、一時地域が孤立しました。また県道が山間部のため狭く、車両通行の速度が制限されるため、ドクターヘリの離発着場としての利用も可能です。



▲ 整備された広場



▲ 災害時に寸断された道路

○ 串毛地区自治運営協議会「ホタル祭りなどイベント時の駐車場整備事業」

【事業概要】

ホタル祭りを行っている田代地区は、高齢者世帯あるいは独居老人世帯が増える中、これからの地域環境をどう維持していくか、また若者をどう定着させるかが課題です。

現在ホタル祭りを行っている場所は、田代グラウンド付近ですが、メイン道路である県道岩野・黒木線は道幅が狭く、車の離合に注意を要します。また、グラウンドの駐車場は手狭のため、田代地区のイベントを開催する際は路上駐車が発生していました。既存の駐車場に隣接する茶工場の跡地を駐車場として活用する事業です。

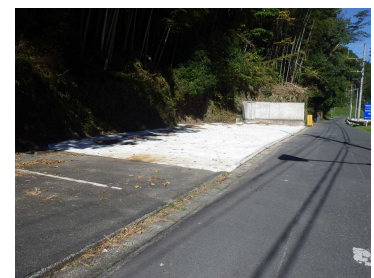
【事業実績】

- コンクリート舗装：面積=160 m²

【事業効果及び今後の展望】

田代グラウンドで実施している串毛地区全体でのグラウンドゴルフ・ソフトボール、田代地区民運動会、田代農村活性化センターで実施する事業や伝統行事である田代風流などの駐車場として、年間を通じて有効に活用でき、地域住民のより一層の交流促進が期待できます。

また、違法駐車減少により、道路交通及びホタル祭りなどイベント参加者の安全確保が期待され、ホタル祭り鑑賞者の増加が見込まれます。



▲ 整備された駐車場



▲ ホタルの乱舞

○ 星野地区まちづくり協議会「星野村災害復興記録写真集制作」

【事業概要】

星野地区においては、平成24年7月の豪雨により甚大な被害を受けました。これまで大切に守り継がれてきました美しい棚田や茶畑や山々、そして清らかな星野川清流などの景観が一瞬にして崩壊し、また尊い一人の命が奪われました。

今回の災害は、私たちの生活環境を脅かす甚大な被害をもたらしました。しかし、県内外の多くの方々からサポート、ボランティア活動を通じて、自助・共助・公助という意味を改めて痛感することができました。

まちづくり協議会では、これまで培ってきた美しい自然、歴史的な名所・旧跡など歴史文化財など有機的に活用し、地域振興の源として地域づくりに寄与してきました。

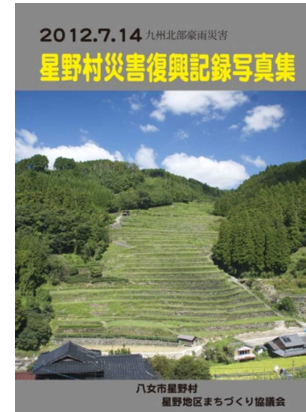
そこで、このような甚大な災害の経験を生かし、悲痛な体験・教訓を次世代へ継承することにより、次世代の若者が誇れる魅力ある村づくりを創出するための災害復興記録写真集を制作しています。

【事業実績】

編纂委員会 5回
制作部数 1,500冊（3月発刊予定）

【事業効果及び今後の展望】

「星野村災害復興記録写真集」を制作することにより、地域防災に対する意識の高揚並びに次世代の若者がふるさとを守り育てる機運を引き出すための資料として活用するとともに、また東日本大震災以降、ボランティア活動が一層クローズアップされ全国的に連帯意識が高まってきた中、本地区においても“NPO法人がんばりよるよ星野村”などのボランティア組織団体が生まれ、本年より都市（11団体）との絆モデル事業として協定締結が行われるなど、復興に向けた新たな取り組みへの一助になっていくと確信しています。



○ 小野地域振興会「美しい里山景観づくり事業」

【事業概要】

小野地域振興会は、星野地区まちづくり協議会の支部組織として、旧小野小学校区域において地域づくり活動を実践しています。本地区は、星野村の西の入り口に位置し、星野村の玄関的な役割を果たしています。今回、美しい地域づくりの一環として、県道や市道沿線の畦畔に彼岸花の球根を植栽。彼岸花の植栽が難しい場所には、プランターにパンジーなどの景観作物を植栽しました。

星野村を訪れる人たちに車窓からの景観を楽しんでもらうとともに、都市との交流促進を図ることを目的に「美しい里山景観づくり事業」の取り組みを行いました。



▲プランターにパンジー苗の植栽

【事業実績】

期 日 ①平成26年9月14日（日曜日） ②平成26年11月16日（日曜日）
場 所 ①県道及び市道沿線の畦畔（道内・内宮） ②上小野地区農村集落センター
内 容 ①彼岸花球根約1万球を田の畦畔に植栽
②パンジーをプランター140箱に植栽し県道沿いに設置
参加者 ①約50人 ②約30人

【事業効果及び今後の展望】

今回の事業を実施することにより、毎年秋には美しい田園風景を楽しむことができます。また、景観の保全が保たれるとともに、都市住民との交流促進を図ることが期待されます。

将来的には、小野地区から鹿里地区までをルートとした彼岸花による景観整備の実現をめざします。



▲ 彼岸花球根の植栽作業参加者

平成26年度未来づくり協議会の取組み

開催日	事業名	事業の詳細	参加者
平成 26 年 4 月 21 日	第 1 回役員会	○平成 26 年度 「第 1 回未来づくり協議会（総会）」要領検討	会長、副会長 事務局
5 月 27 日	未来づくり協議会総会 (第 1 回 未来づくり協議会)	○平成 26 年度役員体制について ○平成 26 年度事業計画・予算について ○市執行部との意見交換会	協議会委員 市執行部 事務局、支所
8 月 26 日	第 2 回役員会	○「地域づくり研修会」及び「先進地視察研修」について	会長、副会長、事務局
10 月 4 日	第 3 回役員会	○「地域づくり研修会」役割分担及び「先進地視察研修」について	会長、副会長 事務局
10 月 4 日	平成 26 年度 「地域づくり研修会」	○地域づくり活動事例発表（2 団体） ・矢部地域づくり協議会 ・星野地区まちづくり協議会 （棕谷地域づくり振興会） ○講演会 「男女（とも）に築く、地域づくり、 元気づくり、人づくり」 講師：（有）郷土の家庭料理「ひまわり亭」 代表取締役 本田 節 氏	来賓（市長、議長） まちづくり協議会 構成員、公民館長、 議員、区長、市民 （109 名）
12 月 1 日 ～2 日	先進地視察研修 (1 泊 2 日)	○地域づくりに関する先進的事例調査 ・熊本県人吉市	協議会委員 事務局、支所
平成 27 年 1 月 23 日	第 4 回役員会	○視察研修の総括及び「第 2 回未来づくり協議会」 開催要領の検討	会長、副会長 事務局
2 月 12 日	第 2 回 未来づくり協議会	○地域づくり活動事例発表（4 事例） ・串毛地区自治運営協議会（2 事例） ・星野地区まちづくり協議会（2 事例） ○市執行部との意見交換	協議会委員 市執行部 事務局、支所
3 月 1 日	情報誌の発行	未来づくり協議会事業報告	(全戸配布)

地域づくり研修会

期日：平成 26 年 10 月 4 日（土）開催
場所：おりなす八女はちひめホール



《第 1 部》 地域提案事業を实践してきた事例発表

◆矢部地域づくり協議会 「発表者：江田秀博さん」

◇数年前に日向神ダム湖畔に数十本のモミジが植えられ、誘客に大きな力を発揮すると地域住民から要望
が上がっており、さらに空地にモミジを植栽する【日向神ダム湖畔に秋の装いを作ろう】について報告。

◆棕谷校区地域づくり振興会 「発表者：山手利郎さん」

◇史跡「お手負いの水」までの整備も兼ね、地域のふれあいの場と圏外から訪れる人たちの観光交流の場
として地域活性につなげる大草自然公園芝生広場整備事業について報告。

《第 2 部》 講演会

◆演題：「男女（とも）に築く、地域づくり、元気づくり、人づくり」

講師：（有）郷土の家庭料理「ひまわり亭」代表取締役 本田 節 氏

◇ボランティア活動から郷土の家庭料理「ひまわり亭」を地域の女性たちと立ち上げ、「食」を核とした
地域づくりと、生き活きと輝く女性たちの活動紹介や今話題の地域づくりの実例について講演。